

# ふくい街角景気速報

(令和3年11月分)

調査期間 令和3年11月10日～24日 (回答率：90%)

## 概況

景気の現状判断DIは59.4となり、前月と比べ3.6ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは51.4となり、前月と比べ7.8ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 59.4 (前月比 +3.6)

○家計動向関連では、前月に比べ 9.9 ポイント上昇した。

○企業動向関連では、前月に比べ 3.3 ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 1.5 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○10月下旬より、突然的に来客数の回復が見られる。コロナ前と比べても遜色無し。ただし、リベンジ消費的な特需感はある。(コンビニエンスストア)

○コロナ禍による影響は回復しつつあるが、原油高の影響で材料費や燃料費等が上昇している。(眼鏡関連)

■景気の先行き判断DI 51.4 (前月比 ▲7.8)

○家計動向関連では、前月に比べ 9.2 ポイント低下した。

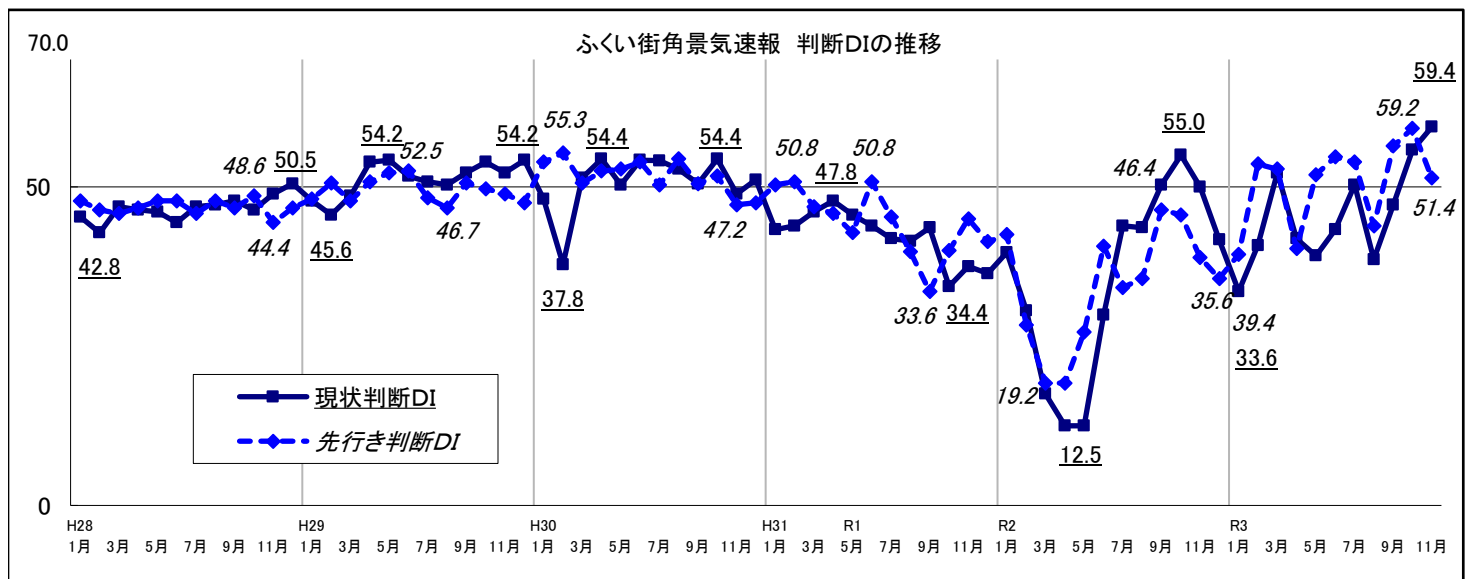
○企業動向関連では、前月に比べ 4.0 ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 14.0 ポイント低下した。

(意見の主な内容)

○このまま感染が落ち着いた状態で国の施策(GoTo再開)を迎えたいが、オミクロン株の拡大により不安要素が大きくなった。(観光関係)

○各種生産資材の供給不安に加え、燃料高、円安による大幅なコストアップのため収益の下振れが見込まれる。(繊維関連)



### <目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

# 調査の概要

## 1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

## 2. 調査の実施概要

### (1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

### (2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

### (3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

## 3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

## 4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ←                      50                      →                      100  
 悪くなっている                      変わらない                      良くなっている

## 1. 景気の現状判断DI

### ○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R3 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		<b>43.3</b>	<b>50.3</b>	<b>38.6</b>	<b>47.2</b>	<b>55.8</b>	<b>59.4</b>	+3.6
家計動向関連		39.8	46.1	31.4	39.2	51.1	61.0	+9.9
小売		37.5	43.1	31.5	40.5	47.7	56.9	+9.2
飲食		43.8	50.0	25.0	50.0	62.5	62.5	+0.0
サービス		45.0	52.1	33.3	33.3	59.1	70.8	+11.7
企業動向関連		42.9	50.7	46.9	55.7	58.3	55.0	▲3.3
製造業		47.0	54.0	46.9	54.0	58.3	57.0	▲1.3
非製造業		32.5	41.7	46.9	60.0	58.3	50.0	▲8.3
雇用関連		59.1	65.9	45.5	52.3	68.2	66.7	▲1.5

### ○回答別構成比

	年 月	R3 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなっている		1.1%	3.3%	1.1%	1.1%	5.6%	10.0%	+4.4
やや良くなっている		12.2%	20.0%	12.2%	20.0%	34.4%	35.6%	+1.2
変わらない		51.1%	53.3%	37.8%	52.2%	41.1%	41.1%	+0.0
やや悪くなっている		30.0%	21.1%	37.8%	20.0%	15.6%	8.9%	▲6.7
悪くなっている		5.6%	2.2%	11.1%	6.7%	3.3%	4.4%	+1.1

## 2. 景気の先行き判断DI

### ○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R3 6	7	8	9	10	11	(前月差)
合計		<b>54.7</b>	<b>53.9</b>	<b>43.9</b>	<b>56.4</b>	<b>59.2</b>	<b>51.4</b>	▲7.8
家計動向関連		52.8	48.9	41.0	54.0	59.2	50.0	▲9.2
小売		49.2	44.0	38.7	50.0	55.3	48.3	▲7.0
飲食		62.5	62.5	43.8	58.3	75.0	37.5	▲37.5
サービス		60.0	56.3	45.8	62.5	68.2	56.3	▲11.9
企業動向関連		55.7	58.1	46.9	57.1	56.1	52.1	▲4.0
製造業		57.0	58.0	46.9	57.0	54.2	52.0	▲2.2
非製造業		52.5	58.3	46.9	57.5	61.1	52.5	▲8.6
雇用関連		59.1	61.4	47.7	63.6	68.2	54.2	▲14.0

### ○回答別構成比

	年 月	R3 6	7	8	9	10	11	(前月差)
良くなる		4.4%	5.6%	2.2%	2.2%	6.7%	1.1%	▲5.6
やや良くなる		33.3%	28.9%	13.3%	44.4%	42.2%	33.3%	▲8.9
変わらない		43.3%	44.4%	47.8%	36.7%	36.7%	41.1%	+4.4
やや悪くなる		14.4%	17.8%	31.1%	10.0%	10.0%	18.9%	+8.9
悪くなる		4.4%	3.3%	5.6%	6.7%	4.4%	5.6%	+1.2

### 3. 判断理由

#### (1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計 動向	福井	百貨店、SC等	全国的に感染者が少ないことで外出、旅行など人流が活発になってきた。引き続き、ふくい de お得クーポンやふく割など消費喚起政策も購買動機に繋がっていて客単価も上がるので効果的である。
		福井	コンビニエンスストア	10月下旬より、突然的に来客数の回復が見られる。コロナ前と比べても遜色無し。ただし、リベンジ消費的な特需感はある。
		奥越	飲食関連	観光客が増えた。
		福井	観光関係	例年、8月は1番の稼ぎ時であるが、今年は第5波にさらされており、昨年より多少良い程度でコロナ前にはほど遠い状態であった。前月始めより福井でお得キャンペーンや全国的な緩和ムードにより動きが活発になっている。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	百貨店、SC等	Gotoイート、ふくいでお得CPなど、お出かけ、旅、集いのニーズが増えていることが会話から感じ取れる。また、「ふく割」効果による購買率アップ傾向がみられる。
		坂井	観光関係	年内に関してはふくいdeお得キャンペーンや新型コロナウイルス感染が落ち着いてきたため、予約が増えてきた。
	企業 動向	丹南	眼鏡関連	コロナ禍による影響は回復しつつあるが、原油高の影響で材料費や燃料費等が上昇している。
		坂井	一般機械関連	コロナが落ち着き、営業活動が活発化している。
		丹南	電気機械関連	緊急事態宣言が明けたことにより、弊社の主要製品であるカラオケマイクの注文が増えてきている。ただし、昨今の電子部品不足により、注文は増加しているが、部品手配が難しい状況である。
		福井	化学・プラスチック 関連	外出関連の経済活動が本格的に再開しつつあり、各商業施設における人出も多くなってきている様子。個人消費の回復と物価上昇の影響がどの程度作用しあうかが経済への影響に繋がると考える。
	雇用	福井	運輸関連	コロナ感染の落ち着きから経済活動が回復しているのか、若干ではあるが荷動きが出てきたように思う。
		嶺南	学校就職担当者	コロナ禍の規制が少しずつ緩和されており、人の動きも活発になってきている。一方で原油高や生活に密着する食品の値上がりなどでどこまで経済が復活するかは不透明。
福井		就職情報誌	新型コロナウイルス感染者数の減少、割引(ふく割、GOTOEAT、お得キャンペーン)などのサービスが増え、お店の広告・求人広告共に増加傾向にある。	
嶺南		百貨店、SC等	コロナ影響も落ち着きが見られ、お出掛け・旅行等も増加傾向。衣料雑貨は上向き傾向も食品は内需・外食増で横ばい。	
③変わらない	家計 動向	福井	サービス業関連	車両の注文数や売り上げ等は横ばいである。
		奥越	繊維関連	売上は順調であるものの、エネルギー関連や資材高の影響で利益の圧迫がある。
	企業 動向	丹南	電気機械関連	受注は減少しているが、半導体不足等によるお客様の生産要因が考えられ、正常化すれば受注が上がってくると考えている。
		福井	化学・プラスチック 関連	半導体不足等による自動車減産や原油高による輸送コスト増大により厳しい状況が続く。
		嶺南	食料品製造関連	土産品の製造販売をしているが、消費者の土産購入の需要が伸びていない。
		福井	銀行等金融関連	行動制限緩和と同時に自治体のクーポン配布が起爆剤になり対面型サービス業を中心に持ち直された。一方で原油高価格の高騰により、製造業を中心にコスト増、生活必需品の値上げにより家計への負担に影響が生じている。
		丹南	建設・不動産関連	仕入れ、経費等の値上がりが続いている。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	一般小売店	コロナ感染は収まっているが、原油高など生活諸物価が上がっている。消費行動も一時的な観光や外食に限られる。価格にシビアに反応して、商品購入している。
		福井	スーパー	コロナの落ち着きおよびGoToイートなど人流が変化していると感じられ、外食に目が向いている感がある。
		福井	家電販売店	客数減、売上減。コロナは落ち着いているが消費が家電には向いていないように思う。
⑤悪くなっている	企業 動向	福井	商社	円安・原油高の影響で石油製品価格が急騰して価格転嫁が遅れ、更にお客様の購買数量が減っている。
		坂井	IT関連	新規受注の落ち込み。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
② やや良くなる	家計動向	嶺南	一般小売店	コロナの感染状況がどうなるかはわからないが、今の状態が続けば人の動きも回復し年末に向け景気は上向くと思う。
		福井	百貨店、SC等	出かける＝購買意欲、消費向上に繋がるため、このままコロナ終息傾向が継続すれば良くなると期待する。
		福井	観光関係	今の状況が続き、国のGo Toキャンペーンが再開されれば、県外からの利用も増えてくると思われる。また、新年会等の利用も少人数になると思うが活性化すると思われる。
	企業動向	嶺南	食料品製造関連	コロナ解除で、観光客が増加し土産需要も増えると期待している。
		福井	建設・不動産関連	感染症の流行が一時的にも抑えられている。ただし、原油高や住宅関連税制次第ではマイナスに成り得る。
	雇用	丹南	労働相談員	資源高が気になるが、これから先、景気浮揚の政策が少しずつ効果が出てくるのではないかと期待している。
③ 変わらない	家計動向	福井	商店街	大きく変化無しと判断。ただし、少しずつ購買機運が上昇すると思う。
		福井	一般小売店	年末年始もあって消費が上向いていくと予想していたが、変異株の発生により一般消費者も様子見になってしまったと思われる。
	企業動向	坂井	繊維関連	現状国内ではコロナが落ち着いてはきているが、原料の高騰なり不安要素もある。
		福井	眼鏡関連	首都圏では動きが見えるが、地方は厳しい。
		丹南	電気機械関連	半導体不足の長期化やコロナウィルスの感染状況等、先行き不透明なため。
		福井	化学・プラスチック関連	経済活動の正常化に伴い雇用・所得環境が改善される。対面型サービスが年末年始にかけ緩やかに持ち直すことで全体の持ち直しが続くことが期待できる。一方、第6波の発生、海外景気の悪化、原油等の資源高の影響が懸念される。
		福井	商社	コロナ感染は少なくなり県外客の来県は増えるが、原油高の影響が相殺して変わらない程度になると思う。
	雇用	福井	銀行等金融関連	行動制限が緩和され、国内旅行や外食等個人消費の回復が期待される。また、これまで往来自粛先(東京、大阪)への訪問が可能になり、商談の活発化が期待される。一方で高止まりが続く原油価格の業者や家計への影響が懸念される。
		福井	学校就職担当者	景気は良くなる傾向があるが、円安、原油価格の影響もあり景気動向が制限されると感じる。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	雇用調整助成金の特例措置が段階的に縮小されることやひっ迫した雇用保険の財源を確保するための保険料の引き上げなどに伴う雇用への影響が懸念される。
④ やや悪くなる	家計動向	福井	百貨店、SC等	南アフリカ初の変異型コロナウイルスが日本に入ってきてしまうと、以前のような状態に戻る可能性がある。人が動き出すことによる感染拡大も懸念される。
		奥越	飲食関連	雪が降ると途端に観光客が減る。
		坂井	観光関係	来年1月は県民割が無いことやGOTOトラベルが未だ再開されていないため予約が入ってこない。
	企業動向	丹南	繊維関連	各種生産資材の供給不安に加え、燃料高、円安による大幅なコストアップのため収益の下振れが見込まれる。
		福井	眼鏡関連	コロナの状況次第だが、このまま完全終息ではないと思われるため次の山が来ると売りに影響されると考えられる。また、今期の冬は降雪も多いとの予想が出ているため、天気も不安要素の一つに挙げられる。
		福井	一般機械関連	このまま円安が続くと更に原油価格に影響を及ぼし、価格転嫁が益々進むことになる。
雇用	福井	就職情報誌	新たな変異株の感染拡大で再び自粛モードになるのではないかと懸念している。	
⑤ 悪くなる	家計動向	福井	観光関係	このまま感染が落ち着いた状態で国の施策(GoTo再開)を迎えたいが、オミクロン株の拡大により不安要素が大きくなった。
	雇用	嶺南	労働相談員	オミクロン株がアフリカやヨーロッパ各地で猛威を振るうのも時間の問題と考える。日本の第6波がちょうど3ヵ月後くらいになるのではないかと懸念している。

#### 4. 参 考

##### (1) 調査対象の構成

調査対象		人数
<b>家計動向関連</b>		52
<b>商店街、小売店</b>		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
<b>百貨店、SC等</b>		
	店長・売場主任	10
<b>スーパー</b>		
	店長・従業員	5
<b>家電販売店</b>		
	経営者・店長・従業員	2
<b>コンビニエンスストア</b>		
	店長	2
<b>ドライブイン等</b>		
	経営者・スタッフ	3
<b>飲食関連</b>		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
<b>その他サービス関連</b>		
	サービス業経営者・従業員	4
<b>観光関係</b>		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
<b>企業動向関連</b>		36
<b>製造業経営者・従業員</b>		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
<b>非製造業経営者・従業員</b>		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
<b>雇用関連</b>		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

## 4. 参 考

### (2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

---

#### 【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。  
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている    ②やや良くなっている    ③変わらない  
④やや悪くなっている    ⑤悪くなっている

#### 【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

#### 【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。  
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる    ②やや良くなる    ③変わらない    ④やや悪くなる    ⑤悪くなる

#### 【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)